

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	約4年2カ月間（2014年10月14日～2018年12月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」（以下「ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	①主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②当ファンドは、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

世界ハイブリッド証券ファンド 2014-10 (為替ヘッジあり／限定追加型)

運用報告書(全体版) 第5期

(決算日 2017年4月28日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界ハイブリッド証券ファンド2014-10（為替ヘッジあり／限定追加型）」は、このたび、第5期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<3244>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2015年 4 月28日)	10,193	90	2.8	0.0	99.5	743
2 期末 (2015年10月28日)	9,997	90	△ 1.0	0.0	99.5	723
3 期末 (2016年 4 月28日)	9,917	90	0.1	0.0	99.4	694
4 期末 (2016年10月28日)	9,952	90	1.3	0.0	99.5	686
5 期末 (2017年 4 月28日)	9,891	70	0.1	0.0	99.5	609

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

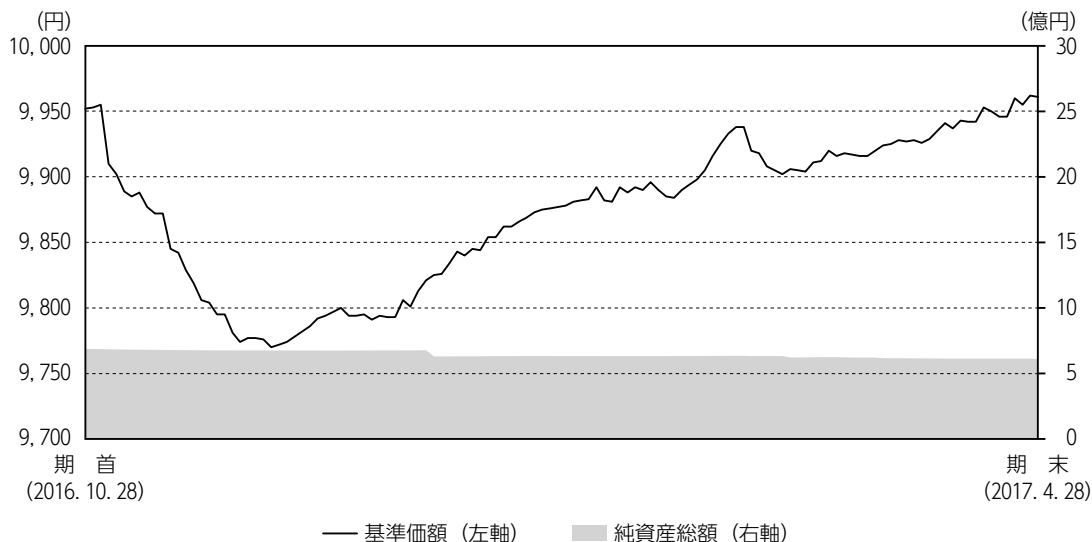
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

基準価額・騰落率

期首：9,952円

期末：9,891円 (分配金70円)

騰落率：0.1% (分配金込み)

基準価額の主な変動要因

「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド (以下「ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」といいます。)」への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含む。) が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、債券価格は総じて下落したものの、利息収入等がプラスに寄与し、基準価額は小幅ながら上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界ハイブリッド証券ファンド2014-10 (為替ヘッジあり/限定追加型)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 組 益 証 券 入 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期 首) 2016年10月28日	9,952	—	0.0	99.5
10月末	9,953	0.0	0.0	99.5
11月末	9,777	△ 1.8	0.0	99.5
12月末	9,801	△ 1.5	—	99.6
2017年 1 月末	9,877	△ 0.8	0.0	99.7
2 月末	9,916	△ 0.4	0.0	99.9
3 月末	9,924	△ 0.3	—	100.3
(期 末) 2017年 4 月28日	9,961	0.1	0.0	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2016. 10. 29 ~ 2017. 4. 28)

■ハイブリッド証券市況

ハイブリッド証券市況は、期首より、米国大統領選挙で勝利した共和党のトランプ氏が掲げる景気刺激策に対する思惑から、債券から株式に投資資金が大きくシフトし、世界的に金利が上昇したため、2016年12月上旬にかけて軟調な展開となりました。しかし、その後開催されたECB（欧州中央銀行）理事会にて、2017年4月からの毎月の資産買い入れ規模の縮小とともに、2017年末までの期間の延長が決定されたことを市場はおおむね好意的に受け止め、ハイブリッド証券市況は上昇に転じました。またその後も、OPEC（石油輸出国機構）加盟国と非加盟国が15年ぶりの原油協調減産で合意したことや、不良債権を抱えるイタリアの銀行に対する同国政府の支援への期待感が高まったことなどを背景に、年末にかけて堅調な展開となりました。2017年に入ると、英国のEU（欧州連合）離脱交渉や米国新政権の政策に関する報道に左右される展開となり、2月中旬にかけて方向感の定まらない展開が続きました。その後は、好調な米国経済指標や企業決算の発表などを背景に米国主要株価指数が史上最高値を連日更新するなど、世界的に株式市場が堅調な展開となる中、金利上昇が一服したことなども支援材料となり、3月上旬にかけて堅調地合いが継続しました。期末にかけては、ドラギECB総裁が追加的な金融緩和措置の必要性は後退したと述べたことなどから弱含む場面もありましたが、世界的に金利が低下傾向となったことから、ハイブリッド証券市況は堅調な展開となりました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

■ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

米国では、今後の経済指標次第ではありますが、FRB（米国連邦準備制度理事会）が2016年12月に利上げを行なう可能性が高いとみています。しかしながら、その後の利上げペースは非常に緩やかなものとなり、米国の潜在的な利上げ圧力が市場の脅威になることはないと考えています。一方、欧州については、ECBは、年内にも資産買い入れ基準の緩和や買い入れ期間の延長を決定す

る可能性もあるとの見方を維持しています。

グローバルな低金利、低成長という投資環境は相応の期間持続するとみています。また、当ファンドで組み入れている金融機関は、規制強化を背景にビジネスモデルの転換を図ることなどにより、着実に財務健全化を進めており、クレジットファンダメンタルズも健全であるとの見方に変わりはありません。依然としてハイブリッド証券の利回りは魅力的な水準であると考えており、また、その希少性等を背景とした需給面での下支えも期待できることから、引き続き底堅い展開が予想されます。よって、現状の組入銘柄の保有を基本に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行なう方針です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

■ **ダイワ・マネーアセット・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

ポートフォリオについて

(2016. 10. 29 ~ 2017. 4. 28)

■ **当ファンド**

当ファンドは、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドとダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてワールドフィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■ **ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド**

当ファンドは、世界を代表する金融機関が発行するハイブリッド証券を対象に、デフォルト（債務不履行）リスクおよびコール延期リスクを避けて高いリターンが見込まれる証券への投資を行いました。期中の解約に対し、慎重に組入証券の売却を行なう一方、投資魅力度が高いと判断される銘柄への一部入れ替えを行なうなど、ポートフォリオの利回り向上に努めました。また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行ないました。

■ **ダイワ・マネーアセット・マザーファンド**

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金(税込み)は70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2016年10月29日 ~2017年4月28日	
当期分配金(税込み) (円)		70
対基準価額比率 (%)		0.70
当期の収益 (円)		70
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		601

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程 (1万口当り)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	173.21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	72.85
(d) 分配準備積立金	425.92
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	671.99
(f) 分配金	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	601.99

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

主として、ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンドへの投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む。）が発行するハイブリッド証券からの収益を享受することをめざします。

■ワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド

米国のトランプ政権の政策運営が引き続き注目されますが、今後は、議会との協議によりどのような妥協点を見いだすかにかかっていると考えられます。当面は、重要政策の実現に向けて財政政策と通商政策が同時進行で協議される見込みです。金融政策に関しては、F R Bが、「2017年1-3月期の成長減速は一時的である可能性が高い」と明言していることから判断すると、6月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）で追加利上げが実施される可能性は高いとみています。しかしながら、短期的には新政権の景気刺激策の不確実性、長期的には構造的に潜在成長率や中立金利が低下している点などを考慮し、過度な引き締めにならないよう政策金利の変更は慎重に行なうものと考えられます。一方、欧州については、E C Bの積極的な金融緩和策や資源国経済の底入れなどを背景に、景気回復は徐々に底堅くなっており、下振れリスクは後退しつつあります。E C Bによる資産買い入れ規模のさらなる縮小に関する議論が活発化することも予想されますが、ユーロ圏内の景況感格差や、英国のE U離脱をめぐる交渉の行方等に配慮し、E C Bの金融緩和策の継続姿勢は維持されるものと思われれます。

このように、米国がけん引する世界経済の回復期待、世界的な保護主義台頭の機運、地政学リスクの高まりなど、市場を取り巻く環境は複雑化しておりますが、大枠としてはグローバルな低金利・低成長という市場環境が相応の期間継続するとの見方に変わりはありません。依然としてハイブリッド証券の利回りは魅力的な水準であると考えており、また、その希少性等を背景とした需給面での下支えも期待できることから、引き続き底堅い展開が予想されます。よって、現状の組入銘柄の保有を基本に、相対価値比較から一部銘柄の入れ替え等も考慮に入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行なう方針です。また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないません。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2016. 10. 29~2017. 4. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.525%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,873円です。
(投 信 会 社)	(24)	(0.242)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.269)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.529	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

世界ハイブリッド証券ファンド2014-10 (為替ヘッジあり/限定追加型)

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2016年10月29日から2017年4月28日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	167.667	15,550	848.962	79,600

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2016年10月29日から2017年4月28日まで)

当				期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				TII FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND (ケイマン諸島)	848.962	79,600	93

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーアセット・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2016年10月29日から2017年4月28日まで)

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	33,711	7,270	21.6	—	—	—
コール・ローン	1,025,517	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペーパーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) TH FUND-WORLD FINANCIAL CAPITAL SECURITIES FUND	6,387.279	606,216	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年4月28日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	606,216	98.2
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	10,822	1.8
投資信託財産総額	617,040	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年4月28日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	617,040,061円
コール・ローン等	10,822,406
投資信託受益証券(評価額)	606,216,655
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	7,730,032
未払収益分配金	4,312,340
未払信託報酬	3,391,607
その他未払費用	26,085
(C) 純資産総額(A-B)	609,310,029
元本	616,048,709
次期繰越損益金	△ 6,738,680
(D) 受益権総口数	616,048,709口
1万口当り基準価額(C/D)	9,891円

* 期首における元本額は689,613,806円、当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は73,565,097円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,891円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,738,680円です。

■損益の状況

当期 自2016年10月29日 至2017年4月28日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	14,088,677円
受取配当金	14,089,859
支払利息	△ 1,182
(B) 有価証券売買損益	△ 10,162,112
売買益	2,132,405
売買損	△ 12,294,517
(C) 信託報酬等	△ 3,417,710
(D) 当期損益金(A+B+C)	508,855
(E) 前期繰越損益金	△ 4,287,563
(F) 追加信託差損益金	1,352,368
(配当等相当額)	(4,488,009)
(売買損益相当額)	(△ 3,135,641)
(G) 合計(D+E+F)	△ 2,426,340
(H) 収益分配金	△ 4,312,340
次期繰越損益金(G+H)	△ 6,738,680
追加信託差損益金	1,352,368
(配当等相当額)	(4,488,009)
(売買損益相当額)	(△ 3,135,641)
分配準備積立金	32,597,698
繰越損益金	△ 40,688,746

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は11ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,670,967円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,488,009
(d) 分配準備積立金	26,239,071
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	41,398,047
(f) 分配金	4,312,340
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	37,085,707
(h) 受益権総口数	616,048,709口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	70円

- <分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、4月28日現在の基準価額（1万口当り9,891円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル
セキュリティーズ ファンド

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014-10（為替ヘッジあり／限定追加型））の主要投資対象であるケイマン籍の外国投資信託「トライアングルⅡ ファンドーワールド フィナンシャル キャピタル セキュリティーズ ファンド」の受益証券（円建）の状況は次の通りです。

（注）2017年4月28日時点で入手し得る直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2015年12月31日現在

（日本円）

資産

現金および現金同等物	51,343,806
未収利息	112,494,577
利益または損失を通じたフェアバリューで測定される金融資産	5,990,414,654

資産合計

6,154,253,037

負債

利益または損失を通じたフェアバリューで測定される金融負債	4,045,969
未払解約金	10,000,000
未払費用	10,645,493

負債合計

24,691,462

資本

資本金	6,343,747,505
繰越損失	(214,185,930)

資本合計

6,129,561,575

負債および資本合計

6,154,253,037

損益計算書

2015年12月31日に終了した年度

収益

受取利息	339,640,033
利益または損失を通じたフェアバリューで測定される 金融資産および負債の純実現損失	84,181,643
利益または損失を通じたフェアバリューで測定される 金融資産および負債の未実現利益の純変動額	(230,007,415)
為替差(損)益	(1,477,059)

収益合計

192,337,202

費用

運用報酬	26,509,780
保管費用	2,217,059
管理費用	10,031,559
事務代行費用	2,019,099
監査費用	1,086,193
弁護士費用	90,425
その他弁護士費用	178,684
翻訳費用	150,000

費用合計

42,282,799

当期利益

150,054,403

組入明細

通貨	銘柄名	利率 (%)	次回コール日	市場価値 (現地通貨)
USD	CREDIT AGRICOLE SA	8.3750	2019/10/13	3,925,576.84
USD	DEUTSCHE BK CAP FNDG TST	5.6280	2016/01/19	3,592,369.57
USD	CREDIT SUISSE GUERNSEY	5.8600	2017/05/15	3,584,218.95
USD	UBS PFD FUNDING TR V	6.2430	2016/05/15	3,217,561.39
EUR	BPCE SA	6.1170	2017/10/30	2,811,829.62
GBP	BNP PARIBAS	5.9540	2016/07/13	2,065,310.38
GBP	DNB BANK ASA	6.0116	2017/03/29	1,653,589.94
EUR	BARCLAYS BANK PLC	4.7500	2020/03/15	2,174,912.49
EUR	ELM BV (SWISS LIFE)	5.8490	2017/04/12	2,065,432.79
GBP	AVIVA PLC	6.1250	2022/09/29	1,472,304.64
EUR	ABN AMRO BANK NV	4.3100	2016/03/10	1,968,379.23
GBP	DANSKE BANK A/S	5.3750	2018/09/29	1,382,560.33
USD	SOCIETE GENERALE	5.9220	2017/04/05	1,945,438.66
GBP	MUFG CAPITAL FIN 5 LTD	6.2990	2017/01/25	1,165,545.59
USD	ALLIANZ SE	5.5000	2018/09/26	1,651,696.63
USD	SWISS RE CAPITAL I LP	6.8540	2016/05/25	1,524,911.61
EUR	UBS AG JERSEY BRANCH	7.1520	2017/12/21	1,197,494.95
USD	SMFG PREF CAP USD 3	9.5000	2018/07/25	1,200,900.78
EUR	DB CONT CAP TRUST IV	8.0000	2018/05/15	999,049.18
USD	STANDARD CHARTERED PLC	6.4090	2017/01/30	1,027,276.11
GBP	ING GROEP NV	5.1400	2016/03/17	626,060.47
GBP	AMERICAN INTL GROUP	5.7500	2017/03/15	622,046.70
GBP	RABOBANK CAP FD TR IV	5.5560	2019/12/31	548,690.39
EUR	SOCIETE GENERALE	6.9990	2017/12/19	547,304.64
USD	BPCE SA	12.5000	2019/09/30	458,763.84
USD	CREDIT AGRICOLE SA	6.6370	2017/05/31	356,580.02
USD	PRUDENTIAL PLC	7.7500	2016/06/23	256,935.10
EUR	NATIXIS	6.3070	2017/10/18	108,507.95

通貨の略称：

USD — 米ドル
 EUR — ユーロ
 GBP — 英ポンド

外国為替先渡契約

売却通貨	売却通貨金額	購入通貨	購入通貨金額	決済日	フェアバリュー (日本円)
日本円	56,790,140	英ポンド	310,000	2016年1月28日	(1,848,006)
日本円	14,176,392	英ポンド	79,000	2016年1月28日	(175,010)
米ドル	22,543,000	日本円	2,758,000,792	2016年1月28日	47,723,463
ユーロ	11,614,000	日本円	1,515,754,754	2016年1月28日	(2,018,377)
英ポンド	9,778,000	日本円	1,809,526,458	2016年1月28日	76,545,227
ユーロ	68,000	日本円	8,997,080	2016年1月28日	110,514
日本円	5,294,564	米ドル	44,000	2016年1月28日	(4,576)
合 計					120,333,235

<補足情報>

当ファンド（世界ハイブリッド証券ファンド2014-10（為替ヘッジあり／限定追加型））が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2017年4月28日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を16～17ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2016年10月29日から2017年4月28日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	4,280,100		
657 国庫短期証券 2017/4/17	2,860,055		
659 国庫短期証券 2017/4/24	2,650,077		
652 国庫短期証券 2017/3/27	2,530,020		
629 国庫短期証券 2016/11/28	2,440,076		
642 国庫短期証券 2017/2/6	2,410,036		
651 国庫短期証券 2017/3/21	1,970,049		
632 国庫短期証券 2016/12/12	1,890,066		
660 国庫短期証券 2017/5/1	1,450,027		
638 国庫短期証券 2017/1/16	1,270,010		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2017年4月28日現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンド（10,450,558千口）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	2017年4月28日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 3,690,000	千円 3,690,156	% 35.3	% —	% —	% —	% 35.3

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2017年4月28日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	660 国庫短期証券	—	1,450,000	1,450,011	2017/05/01	
	661 国庫短期証券	—	200,000	200,005	2017/05/08	
	644 国庫短期証券	—	1,100,000	1,100,042	2017/05/12	
	663 国庫短期証券	—	80,000	80,003	2017/05/15	
	665 国庫短期証券	—	20,000	20,001	2017/05/22	
	666 国庫短期証券	—	270,000	270,023	2017/05/29	
	650 国庫短期証券	—	10,000	10,001	2017/06/12	
	669 国庫短期証券	—	560,000	560,068	2017/06/12	
合 計	銘 柄 数 金 額	8銘柄	3,690,000	3,690,156		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第5期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの第5期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

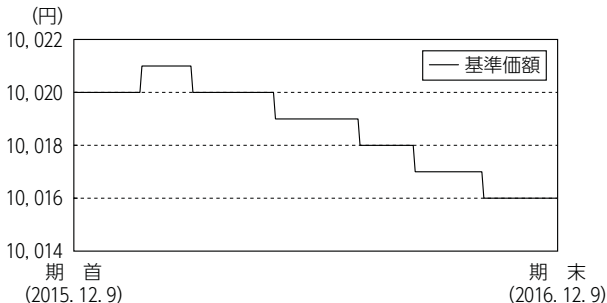
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2015年12月9日	10,020	—	52.7
12月31日	10,020	0.0	52.0
2016年1月31日	10,020	0.0	61.6
2月28日	10,021	0.0	48.5
3月31日	10,020	0.0	32.1
4月30日	10,020	0.0	24.5
5月31日	10,019	△ 0.0	10.5
6月30日	10,019	△ 0.0	10.5
7月31日	10,018	△ 0.0	19.3
8月31日	10,017	△ 0.0	46.5
9月30日	10,017	△ 0.0	26.1
10月31日	10,016	△ 0.0	3.4
11月30日	10,016	△ 0.0	26.7
(期末) 2016年12月9日	10,016	△ 0.0	28.2

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：10,020円 期末：10,016円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】
 低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場
 期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

国	買付額	売付額
内	千円	千円
国債証券	48,041,830	— (51,515,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

当 期		期 末	
買 付	売 付	買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
591 国庫短期証券 2016/5/30	4,500,177		
613 国庫短期証券 2016/9/12	3,790,054		
601 国庫短期証券 2016/7/19	3,150,065		
611 国庫短期証券 2016/9/5	3,010,051		
629 国庫短期証券 2016/11/28	2,440,076		
586 国庫短期証券 2016/5/12	2,000,342		
607 国庫短期証券 2016/8/15	1,980,036		
609 国庫短期証券 2016/8/22	1,940,045		
610 国庫短期証券 2016/8/29	1,920,037		
632 国庫短期証券 2016/12/12	1,890,066		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,960,056	27.4
コール・ローン等、その他	7,832,675	72.6
投資信託財産総額	10,792,732	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内(邦貨建) 公社債(種類別)

作 成 期	当 期		期 末		残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下組入比	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,960,000	2,960,056	28.2	—	—	—	28.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内(邦貨建) 公社債(銘柄別)

区 分	当 期		期 末		償 還 年 月 日
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	
		%	千円	千円	
国債証券	632 国庫短期証券	—	1,890,000	1,890,015	2016/12/12
	634 国庫短期証券	—	320,000	320,006	2016/12/19
	635 国庫短期証券	—	750,000	750,034	2016/12/26
合計	銘柄数	3銘柄			
	金 額		2,960,000	2,960,056	

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	10,792,732,361円
コール・ローン等	7,832,629,033
公社債(評価額)	2,960,056,480
その他未収収益	46,848
(B) 負債	300,005,700
未払金	300,005,700
(C) 純資産総額 (A - B)	10,492,726,661
元本	10,476,400,958
次期繰越損益金	16,325,703
(D) 受益権総口数	10,476,400,958口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,016円

* 期首における元本額は12,186,116,869円、当期中における追加設定元本額は1,736,323,360円、同解約元本額は3,446,039,271円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・グローバル・ハイブリッド証券ファンドII(為替ヘッジあり)999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジあり)999円、ダイワ債券コア戦略ファンド(為替ヘッジなし)999円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(毎月分配型)219,583円、通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム(年2回決算型)24,953円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(毎月分配型)848,389円、ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム(年2回決算型)66,873円、ダイワ米国株主還元株ファンド36,730,213円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型)4,995円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型)4,995円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-04(為替ヘッジあり/限定追加型)999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-07(為替ヘッジあり/限定追加型)999円、世界ハイブリッド証券ファンド2014-10(為替ヘッジあり/限定追加型)999円、世界ハイブリッド証券ファンド2015-01(為替ヘッジあり/限定追加型)999円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型)ースーパー・ハイインカムーα50コース49,911円、ダイワ・ブラジル・レアル債α(毎月分配型)ースーパー・ハイインカムーα100コース49,911円、ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ39,455,979円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11Ver3ー1,078,302,562円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11Ver7ー1,257,987,220円、ダイワ日本株式インデックス・ファンドーシフト11Ver5ー2,095,808,384円、ダイワ・スイス高配当株ツインα(毎月分配型)2,996,106円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)為替ヘッジなしコース5,990,216円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)日本円コース1,397,544円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)ブラジル・レアル・コース3,994,008円、通貨選択型ダイワ世界インカム・ハンター(毎月分配型)通貨セレクト・コース1,597,623円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型)為替ヘッジあり40,885円、ダイワ世界インカム・ハンター(年2回決算型)為替ヘッジなし100,789円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型)29,988,005円、ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし(毎月分配型)1,999,201円、通貨選択型ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース(毎月分配型)1,002,195円、通貨選択型ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース(毎月分配型)3,011,774円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスーインカムチェンジ(積立型)ー1,527,685円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型)ーシフト11ー3,536,610,361円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型)ーシフト12ー1,088,870,549円、ダイワ日本株式インデックス・ファンド(限定追加型)ーシフト13ー1,287,713,056円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,016円です。

■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,082,398円
受取利息	1,776,408
その他収益金	46,848
支払利息	△ 2,905,654
(B) 有価証券売買損益	△ 3,128,171
売買益	40
売買損	△ 3,128,211
(C) その他費用	△ 111,607
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 4,322,176
(E) 前期繰越損益金	24,173,441
(F) 解約差損益金	△ 6,316,919
(G) 追加信託差損益金	2,791,357
(H) 合計 (D + E + F + G)	16,325,703
次期繰越損益金 (H)	16,325,703

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。